

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804360

案件番号 :1884997

主分野課題 :運輸交通/運輸交通行政

副分野課題 :ガバナンス/公共安全

使用言語 :英語

**案件概要**

日本の交通警察行政の担当官による講義や交通警察に関連する施設への視察を通して、交通警察行政について網羅的に学び、日本の交通警察行政に係る知見を共有することができる。研修員はカントリーレポートとアクションプランの作成・発表、また意見交換によって、自国の交通警察の課題を把握するとともに、他国と共通する課題の解決策を学び、研修で得られた知見を所属組織内で還元することができる。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

【案件目標】  
参加国の交通警察業務監督者の交通警察運営に係る能力が向上し、抱える課題の解決策を学ぶ。

【対象組織】  
各国の交通警察行政や業務を監督する機関

【成果】  
1. 日本の交通警察の制度・組織・運営および道路交通施策を理解し、説明できる。  
2. カントリーレポートとアクションプランの発表や意見交換を通じ、各国共通の課題について問題点の把握と解決策の検討を行う。

【対象人材】  
交通警察業務を監督、または直接従事している中央警察機関の課長相当者。交通警察業務に従事した経験を有すること。

**内容**

1. 日本の交通警察の制度・組織・運営、道路交通施策に関する講義、視察。具体的には交通警察活動の沿革、交通安全教育と交通安全運動、交通指導取締りなど。  
2. (1) カントリーレポートの発表と意見交換  
(2) アクションプランの作成・発表と意見交換

本邦研修期間

2018/11/4～2018/12/1

担当課題部

社会基盤・平和構築部

所管国内機関

JICA東京（産業公共）

関係省庁

警察庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

警察庁交通局交通企画課

特記事項  
及び  
ホームページ

<警察庁HP>  
<http://www.npa.go.jp/english/index.htm>

研修実施年  
(2014、2016)